

# 香川大学「第1回ジオアートJr.マイスター養成講座」実施報告

長谷川 修 一  
鶴 田 聖 子

## 1. はじめに

現在日本で東京一極集中、地方の人口減少が進む一因として、高校卒業後の進学就職先を大都市、特に東京圏に求めることがあげられる。若者が郷土に定着する持続可能な地域社会を創出するためには、高校生の中に郷土愛とレジリエンス能力を養う取り組みが必要と思われる。

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構では、令和4年10月から高校生を対象とした「ジオアートJr.マイスター養成講座」を開講し、高等学校との連携体制の強化によって、郷土愛とレジリエンス能力のある高校生を育成する支援を開始した。

本講座は、Geology（地質学）、Geography（地理学）、Geophysics（地球物理学）など、大地や地球に関わる接頭語であるジオ（Geo）と、人の心を動かすアートを融合した高校生のための講座で、本事業は高等学校と大学との接続における一人ひとりの能力を伸ばすための連携（高大接続）事業であり、令和4年度からの高等学校必修科目「地理総合」との連携、支援事業としても位置づけられる。

## 2. 香川大学ジオアートJr.マイスター養成講座の概要

令和4年度に実施した香川大学ジオアートJr.マイスター養成講座の参加者は、24名（高松商業1名、高松西高校7名、高松高校2名、高松工芸高校9名、小豆島中央高校5名）で、令和4年10月2日～令和5年4月2日に講座を開講した（表1、写真1～7）。

### （1）開講式・ガイダンス（10月2日（日））

#### ①内容：[ガイダンス]

長谷川 修一 特任教授（四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構）

[高校生の取組発表]「サヌカイト製品開発と“りん”と“優勝盾”」

小松 妃良理 氏（高松高校3年）

[受講者に贈る言葉]

出射 隆文 氏（工学研究科；元高松高校校長）、

#### ②受講者数：19名

#### ③アンケート結果：

##### ・ガイダンス

講義：大変満足4名、満足3名、普通0名

理由：新しい発見があった3名、知らないことを学べた5名、事例がおもしろかった1名、大学らしい雰囲気を感じた3名、先生がおもしろかった1名

## ・ 高校生の取組発表

講義：大変満足5名、満足2名、普通0名

理由：新しい発見があった3名、知らないことを学べた3名、事例がおもしろかった3名、高校生の発表で士気が上がった4名

## ・ 受講者に贈る言葉

講義：大変満足1名、満足4名、普通2名

理由：新しい発見があった1名、知らないことを学べた2名、大学らしい雰囲気を感じた3名、先生がおもしろかった3名

表1 香川大学ジオアートJr.マイスター養成講座スケジュール

日時	内容	講師
10月2日(日)	①開講式・ガイダンス(ジオの視点)	長谷川 修一(危機管理機構) 出射 隆文(工学研究科) 小松 妃良理(高松高校)
	②大地の成り立ちから見た香川県の世界的な価値	長谷川 修一(危機管理機構)
10月30日(日)	③大地の成り立ちから見た香川の名所	長谷川 修一(危機管理機構)
	④大地の成り立ちから見た香川の災害と名産	長谷川 修一(危機管理機構)
	⑤讃岐の風土と郷土料理	西村 美樹(地域マネジメント研究科)
	⑥讃岐の風土と建築	釜床 美也子(創造工学部)
12月18日(日)	⑦讃岐の風土とアート	柴田 悠基(創造工学部)
	⑧デザイン思考入門	柴田 悠基(創造工学部)
	(自主活動)美術展覧会を見学(三木町平木公民館)	柴田 悠基(創造工学部)
1月29日(日)	⑨ジオヒストリー：過去の場所や空間を考察する	守田 逸人(教育学部)
	⑩地域探求の方法	平 篤志(教育学部)
	⑪高松と丸亀の城下町のデザイン	西成 典久(経済学部)
	⑫地理情報システムを活用しよう	野々村 敦子(創造工学部)
3月5日(日)	⑬サヌカイトの里でフィールドワーク(坂出市)	長谷川 修一(危機管理機構) 前田宗一・秋山源(けいの里) 林千景(サヌカイト楽器奏者)
	⑭ワークショップ(坂出市) 「地域の宝を保護しながら活用する方法」	長谷川 修一(危機管理機構)
3月19日(日)	⑮シビックプライドを育てる「まちのデータ研究室」	米谷 雄介(創造工学部)
	⑯「まちのデータ研究室」演習	米谷 雄介(創造工学部)
4月2日(日)	⑰発表会・修了式	長谷川 修一(危機管理機構)・来賓

## (2) 大地の成り立ちから見た香川県の世界的な価値(10月2日(日))

## ①内容：「大地の成り立ちから見た香川県の世界的な価値」

長谷川 修一 特任教授(四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構)

瀬戸内で雨が少ない讃岐平野で生まれた「うどん文化」について、大地の成り立ちから紐解くとともに、瀬戸内海の灘と瀬戸、そこに生まれた産業、讃岐の里山と備讃瀬戸の世界的価値について講義した。

## ②受講者数：19名

③アンケート結果：

講義：大変満足3名、満足4名、普通0名

理由：新しい発見があった3名、知らないことを学べた6名、事例がおもしろかった1名、大学らしい雰囲気を感じた2名、先生がおもしろかった1名

(3) 大地の成り立ちから見た香川の名所 (10月30日 (日))

①内容：「大地の成り立ちからの視点で讃岐と備讃瀬戸を眺めてみよう」

長谷川 修一 特任教授 (四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構)

香川県の絶景、国の天然記念物となっている場所について、大地の成り立ち (地形・地質) から絶景の秘密を解説した。

②受講者数：12名

③アンケート結果：

講義：大変満足1名、満足1名、普通0名

理由：新しい発見があった1名、知らないことを学べた2名、事例がおもしろかった1名、先生がおもしろかった1名

(4) 大地の成り立ちから見た香川の災害と名産 (10月30日 (日))

①内容：「大地の成り立ちから見た香川の災害と名産」

長谷川 修一 特任教授 (四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構)

「ジオが分かれば災害が腑に落ちる」ことを、香川県内で過去に起こった災害を例にして大地の成り立ちの特徴を講義した。また、災害跡地を利用した香川の名産には何があるかを考えた。

②受講者数：11名

③アンケート結果：

講義：大変満足1名、満足1名、普通0名

理由：新しい発見があった2名、知らないことを学べた2名、事例がおもしろかった1名、先生がおもしろかった1名

(5) 讃岐の風土と郷土料理 (10月30日 (日))

・内容：「讃岐の風土と郷土料理」

西村 美樹 特命講師 (地域マネジメント研究科)

香川県の温暖で降水量が少ない気候風土で生まれた特産品「讃岐三白」、讃岐の郷土料理を使って地域を活性化するしくみについて講義した。

・受講者数：10名

・アンケート結果：

講義：大変満足1名、満足1名、普通0名

理由：新しい発見があった2名、知らないことを学べた3名、事例がおもしろかった1名、先生がおもしろかった1名

(6) 讃岐の風土と建築 (10月30日 (日))

- ・内容：「讃岐の風土と建築」

釜床美也子 講師 (創造工学部)

讃岐の風土に合った昔ながらの建築手法や、重要文化財 香川県庁舎旧本館及び東館強風地域の建築、塩飽本島の重要伝統的建造物群保存地区の紹介、また、歴史的景観の整備方法について講義した。

- ・受講者数：16名

- ・アンケート結果：

講義：大変満足4名、満足2名、普通1名

理由：新しい発見があった3名、知らないことを学べた6名、事例がおもしろかった3名、大学らしい雰囲気を感じた2名、先生がおもしろかった1名

(7) 讃岐の風土とアート (12月18日 (日))

- ・内容：「デザイン思考で変わる世界の見え方」

柴田 悠基 講師 (創造工学部)

地域の空き家・廃校を活用した新しい取り組み、瀬戸内国際芸術祭の作品の事例紹介等を通じて、デザイン思考で地域と関わっていく方法について講義した。

- ・受講者数：16名

- ・アンケート結果：

講義：大変満足7名、満足2名、普通0名

理由：新しい発見があった5名、知らないことを学べた8名、事例がおもしろかった6名、大学らしい雰囲気を感じた1名、先生がおもしろかった3名

(8) デザイン思考入門 (12月18日 (日))

- ・内容：「思考を支える発想力を養う」

柴田 悠基 講師 (創造工学部)

発想力を養うための演習 (身体表現としてのデッサン、経験による認知) を行った。

- ・受講者数：16名

- ・アンケート結果：

講義：大変満足6名、満足3名、普通0名

理由：新しい発見があった6名、知らないことを学べた7名、事例がおもしろかった4名、大学らしい雰囲気を感じた1名、先生がおもしろかった3名

(9) ジオヒストリー：過去の場所や空間を考察する (1月29日 (日))

- ・内容：「中世善通寺領の史実と伝承をあるく」

守田 逸人 教授 (教育学部)

昔の地名から過去に何があったのかを調べる手法について、善通寺を例に挙げ、講演した。

- ・受講者数：15名

・アンケート結果：

講義：大変満足5名、満足6名、普通0名

理由：新しい発見があった10名、知らないことを学べた7名、事例がおもしろかった2名、大学らしい雰囲気を感じた3名、先生がおもしろかった1名

(10) 地域探求の方法（1月29日（日））

・内容：「地域探求の方法－地理学的研究を事例に－」

平 篤志 教授（教育学部）

地域探求の方法を東かがわ地域の手袋産業を事例にして講義を行った。

・受講者数：15名

・アンケート結果：

講義：大変満足5名、満足1名、普通3名

理由：新しい発見があった6名、知らないことを学べた7名、事例がおもしろかった1名、大学らしい雰囲気を感じた3名、

(11) 高松と丸亀の城下町のデザイン（1月29日（日））

・内容：「高松と丸亀の城下町デザイン」

西成 典久 教授（経済学部）

高松と丸亀の城は町をどう発展させたのかを、土地の成り立ちと当時のまちづくりのデザインから講義を行った。

・受講者数：17名

・アンケート結果：

講義：大変満足8名、満足0名、普通0名

理由：新しい発見があった8名、知らないことを学べた5名、事例がおもしろかった4名、先生がおもしろかった1名

(12) 地理情報システムを活用しよう（1月29日（日））

・内容：「地理情報システムを活用しよう」

野々村 敦子 教授（創造工学部）

地形データの活用法、地形データの可視化手法を地理情報システムを用いて講義し、実際にタブレットを用いて演習を行った。

・受講者数：17名

・アンケート結果：

講義：大変満足3名、満足5名、普通0名

理由：新しい発見があった5名、知らないことを学べた7名、大学らしい雰囲気を感じた2名

(13) サヌカイトの里でフィールドワーク（坂出市）（3月5日（日））

・内容：「サヌカイトの里でフィールドワーク」

長谷川 修一 特任教授（危機管理機構）

金山周辺で使われているサヌカイトの石垣、敷石、石器時代のサヌカイト石器はどこで採石されていたのかを考えながらフィールドワークを行った。

JR八十場駅集合→天皇寺・白峰神社→八十場（やそば）の清水→けいの里  
→（うどん・押し寿司）→ワークショップ@けいの里→JR坂出駅解散

・受講者数：18名

・アンケート結果：

講義：大変満足3名、満足3名、普通0名

理由：新しい発見があった5名、知らないことを学べた6名、事例がおもしろかった1名、「けいの里」のサヌカイトが魅力的4名、行ったことのないところに行った3名

(14) ワークショップ（坂出市）（3月5日（日））

・内容：「地域の宝を保護しながら活用する方法」

長谷川 修一 特任教授（危機管理機構）

けいの里（香川県資源研究所）の前田宗一会長、秋山源氏とサヌカイトの現状、楽器作製について話を聞き、サヌカイトを保護しながら活用するため方法について意見交換を行った。

・受講者数：18名

・アンケート結果：

講義：大変満足3名、満足2名、普通1名

理由：新しい発見があった5名、知らないことを学べた6名、事例がおもしろかった2名、場所がよかった1名、先生がおもしろかった1名

(15) シビックプライドを育てる「まちのデータ研究室」（3月19日（日））

・内容：「シビックプライドを育てる「まちのデータ研究室」」

米谷 雄介 准教授（創造工学部）

パソコンやスマートフォンなどのデジタル技術を活用して、「まちのデータ研究室」にデータを蓄積する手法を講義した。

・受講者数：13名

・アンケート結果：

講義：大変満足2名、満足2名、普通0名

理由：新しい発見があった3名、知らないことを学べた3名、大学らしい雰囲気を感じた1名、

(16) 「まちのデータ研究室」演習（3月19日（日））

・内容：「～ジオパークの魅力を共有してみよう～」

米谷 雄介 准教授（創造工学部）

ソフトを使って、前回のフィールドワークのe紙芝居をつくる演習を行った。

・受講者数：13名

・アンケート結果：

講義：大変満足2名、満足2名、普通0名

理由：新しい発見があった2名、知らないことを学べた3名、事例がおもしろかった1名、大学らし



い雰囲気を感じた1名、

### 3. 発表会・修了証授与式

- (1) 日時：2023年4月2日（日）10：00－12：00
- (2) 場所：香川大学幸町北キャンパス研究交流棟6階第1講義室
- (3) 来賓：小豆島中央高校教頭 公文洋 氏  
小豆島中央高校教員 須藤大智 氏  
香川大学創造工学部大学院 出射隆文 氏（元高松高校校長）
- (4) 受講者数：19名
- (5) スケジュール：
  - 10：00－10：05 開会挨拶
  - 10：05－10：10 来賓挨拶
  - 10：10－10：15 発表の進め方
  - 10：15－11：35 発表会：10分／チーム・人＋質疑3分
  - 11：35－11：45 講評
  - 11：45－11：50 修了証書（ジオアートJr.マイスター認定証）授与
  - 11：50－11：55 集合写真
  - 11：55－12：00 アンケート回答・発表会終了

#### (6) 発表会

高校生のための「ジオアート Jr.マイスター養成講座」では、香川大学の様々な学部の教員から香川県の大地の成り立ちと生活、産業、歴史、芸術、文化とのつながりを学んだ。また、フィールドワークではサヌカイト楽器のアトリエを見学した。発表会では、坂出市金山周辺で行われたフィールドワークから、サヌカイト及びサヌカイト楽器を未来に継承するための解決策について、グループに分かれて発表を行った。

#### ①高松西高校（3名）

内 容：かがわ県民向けにSNS等で発信してはどうかと提案。

コメント（出射）：金山所有者と一緒にコラボして発信してはどうか？

コメント（長谷川）：香川の人だけに発信する方法があるか？

#### ②高松工芸高校（3名）

内 容：「けいの里」の施設を知ってもらうために、道中に看板や休憩所を設けるのはどうかと提案。

質問（公文）：調べたことの中で何に魅力を感じたか？

学生の回答：サヌカイト楽器の音をみんなに知ってもらいたい。

落ちている石を加工するだけで楽器になったことに驚いた。

サヌカイトの音の周波数が気になった。

質問（長谷川）：かせぐためにはどうすればいいか？

学生の回答：一部の人に売れるようにすればいい。

コンサートを色々なところで行う。

サヌカイト楽器を作る人を増やす。

③高松高校（2名）

内容：駅メロで使ってはどうかと提案。

コメント（出射）：サヌカイトを消費せずに発信できるのが面白い。管理しながら自由に演奏できる街角ピアノみたいなものも楽しい。

④高松西高校（1名）

内容：フィールドワークの回は欠席したため、独自で吹奏楽とサヌカイトの音について調べた。

質問（公文）：吹奏楽部らしい発表だった。吹奏楽部にサヌカイトパートを作れるか？

学生の回答：ソロパートで入れることは可能。

⑤小豆島中央高校（4名）

内容：金山周辺でスタンプラリーを行って、地域を活性化してはどうかと提案があった。

質問（長谷川）：「けいの里」の入場料はいくらが妥当か？

学生の回答：500円～1000円

コメント（公文）：スタンプラリーは実現可能で面白い。サヌカイトと小豆島の石を比べるとスタンプラリーの面白さが深まる。

⑥高松西高校（1名）

内容：仮想空間上でサヌカイトの音色を売ってはどうかと提案があった。

質問（須藤）：動画のBGMを有料で配信するのはどうか？どんな曲がいいか？

学生の回答：瀬戸の花嫁

⑦高松西高校・高松工芸高校（3名）

内容：音楽会、SNSで発信、江尻町ツアーの実施の提案があった。

質問（長谷川）：発表に当たり難しかったことはあるか？

学生の回答：高校が違うので、打合せがしにくかった。

⑧高松工芸高校（2名）

内容：音楽だけでなく石についてもSNSで発信してはどうかと提案があった。

質問（長谷川）：だれがSNSを発信するのか？

学生の回答：けいの里を応援する人がインスタ、YouTubeなどで発信すると思う。

質問（出射）：建築資材として、住宅で使うアイデアはないか？

学生の回答：音が魅力なので、資材にすると魅力がなくなってしまうため、取り入れたくない。

(7) 修了証授与式

以下の受講生に修了証が授与された。

- ・ 3分の2以上の出席者14名、
- ・ 3分の2以上の出席数は満たしていないが、発表会で発表した者5名

また、上述に当てはまらない者4名には、参加賞が出た。

#### 4. アンケートによる講座の評価と今後の課題

4月2日の最後の養成講座のアンケート（図1-1、図1-2）では、受講した動機、面白かった講座、役に立つ講座、地元に興味をもったかどうかの講座に対する評価を質問するとともに、養成講座の開催時期、発表会の改善点など今後の開催の改善点を質問した。受講した動機では「香川の魅力を知りたかつ



た」「大学の講義に興味があった」「地域探求のヒントになると思った」等と回答があり、高校で行っている地域探求授業により地域のことに興味を示していることが分かった。また、大学での講義は、今後大学に進学する際の模擬授業のようで興味があったようである。面白かった講座の上位2講座は「サヌカイトの里でフィールドワーク」「高松と丸亀の城下町のデザイン」と香川の魅力を具体的に学ぶことができる講座が面白かったと感じている。また、役に立つと思った講座の上位2講座は「地理情報システムを活用しよう」「シビックプライドを育てる「まちのデータ研究室」とIT技術を使った講義に集中した。今後、受講生が面白くかつ役に立つと感じるバランスのとれた講座の構築を考えていく必要がある。

## 5. まとめと今後の課題

令和4年10月から月に1日の割合で開講した「高校生のためのジオアートJr.マイスター養成講座」は、香川県内から23人の高校生が参加し、香川大学で地域を研究している教員の講義を受講すると共に、3月には坂出市でサヌカイトに関するフィールドワークを実施、4月には発表会・修了式を実施した。受講後、「素晴らしい体験ありがとう」「フィールドワークが楽しかった」「香川についていろいろな視点から考えることができた」等の感想を得た。

今後も高校生のためのジオアートJr.マイスター養成講座を継続して開講予定で、令和5年度は、令和4年度に評価の高かったフィールドワークを重点的に行い、香川県内の魅力的な場所を現地で探訪しながら、大地の成り立ちと地域の風土を学んでもらう養成講座を行う予定である。

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構  
ジオアート Jr. マイスター養成講座アンケート結果

1. 全般

(1) 受講した動機

- ・自分の知らない香川を知ることができると思ったから。
- ・大学の先生の講義を受けることができる貴重な機会だと思った。(2)
- ・様々な専門的な視点から、自分の住む香川について学び、再発見できることがあると思った。
- ・高校生で大学の講義に参加できると聞いて興味がわいた。
- ・香川大学の雰囲気が知れた。
- ・講義を受けるという貴重な体験をしてみたいと思ったから。
- ・学校の先生に総合学習に役に立つと言われたから。
- ・香川のことを知ろうと思ったから。
- ・香川の魅力について知りたかったから。大学の講義に興味があったから。
- ・学校で地域探究の授業をしていて、何かヒントになるものがあるかなと思ったから。(2)
- ・香川の魅力を再発見しようと思ったから。(2)
- ・香川についてもっと知りたかったから。(2)
- ・将来の自分の夢に関係していることだったから。
- ・自分たちの地元へのアピールに使えると思ったから。
- ・内容に興味があったから。
- ・地域についてもっと知りたかった。防災、地域でもっと学びを深めたかった。
- ・ジオって何だろう？という興味があったから。

(2) 面白かった講座は？

- ②大地の成り立ちから見た香川県の世界的な価値 (3)
- ③大地の成り立ちから見た香川の災害と名所 (1)
- ⑤讃岐の風土と郷土料理 (4)
- ⑥讃岐の風土と建築 (5)
- ⑦讃岐の風土とアート (5)
- ⑧デザイン思考入門 (5)
- ⑩地域探求の方法 (1)
- ⑪高松と丸亀の城下町のデザイン (8)
- ⑫地理情報システムを活用しよう (1)
- ⑬サヌカイトの里でフィールドワーク（坂出市） (13)
- ⑭ワークショップ（坂出市） (2)
- ⑮シビックプライドを育てる「まちのデータ研究室」 (2)
- ⑯「まちのデータ研究室」演習 (5)

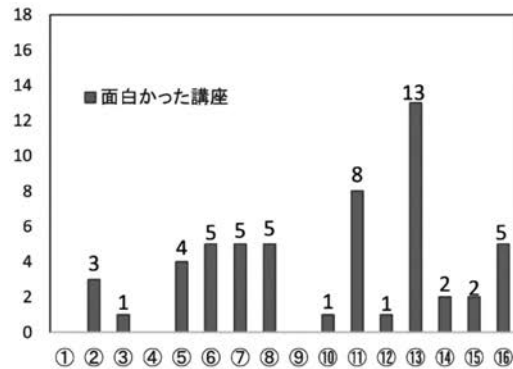


図1 面白かった講座

(3) 役に立つ講座は？

- ②大地の成り立ちから見た香川県の世界的な価値 (4)
- ③大地の成り立ちから見た香川の災害と名所 (4)
- ④大地の成り立ちから見た香川の災害と名産 (3)
- ⑤讃岐の風土と郷土料理 (1)
- ⑥讃岐の風土と建築 (5)
- ⑦讃岐の風土とアート (1)
- ⑧デザイン思考入門 (3)
- ⑨ジオヒストリー：過去の場所や空間を考察する (1)
- ⑩地域探求の方法 (2)
- ⑪高松と丸亀の城下町のデザイン (4)
- ⑫地理情報システムを活用しよう (9)
- ⑬サヌカイトの里でフィールドワーク（坂出市） (5)

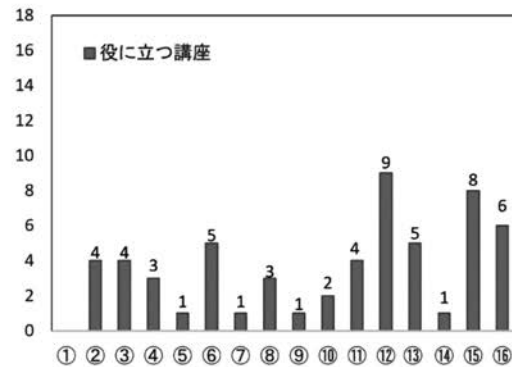


図2 役に立つ講座

図1-1 アンケート結果1

香川大学四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構

- ⑭ワークショップ（坂出市） (1)  
⑮シビックプライドを育てる「まちのデータ研究室」(8)  
⑯「まちのデータ研究室」演習 (8)

(4) 地元に対して興味をもちましたか？

- ・大変興味を持った 9
- ・興味を持った 9

(5) 養成講座開催時期について

- ・開催時期(10月～3月) 14
- ・日曜日の開催 13
- ・土曜日の開催がよい 1

2. 4月2日の発表会・修了証書（または参加証書）授与式について

(1) 発表会は？

- ・大変満足 9
- ・満足 9
- ・普通 1

(2) 上記の理由(★は自由意見)

- ・新しい発見 14
- ・調べることがおもしろかった 4
- ・知らないことを学べた 14
- ・他のチームの発表 14

★自分とは違う発想を聞いて面白かった。

(3) 修了証書（または参加証書）授与式はどうでしたか？

- ・大変満足 10
- ・満足 6
- ・普通 3

(4) 発表会の改善について、希望があれば教えてください。

- ・準備する講座があればいい。それぞれが制作したパワーポイントをみれたらいい。
- ・もっと質疑応答があれば深く知ることができたと思う。

3. ご意見、ご感想がありましたら、自由に記述ください。

- ・普段体験できないことがたくさんできて、とても楽しかったです。新しい友達もできてよかったです。
- ・フィールドワークが特に楽しかったです。色々な話が聞けて良かった。参加してよかった。
- ・素晴らしい体験をありがとうございました。
- ・香川について色々な視点から考えることができて、とても楽しかったです。
- ・何度も忘れてしまい、申し訳ありませんでした。

\*\*\*\*\*

参加申込者：23名（高松商1、高松西7、高松2、工芸9、小豆島中央4）

アンケート回答者（4/2出席者）：19名（高松西7、高松2、工芸6、小豆島中央4）

図1-2 アンケート結果2





出射隆文 氏



小松妃良理 氏



長谷川修一 特任教授

写真1 講義1・2 (10月2日)



長谷川修一 特任教授



西村美樹 特命講師



釜床美也子 講師

写真2 講義3～6 (10月30日)



柴田悠基 講師



自主研修 (池戸公民館)

写真3 講義7・8・自主研修 (12月18日)



守田 逸人 教授



平 篤志 教授



西成典久 教授



野々村敦子 教授

写真4 講義9～12 (1月29日)



八十場駅南の高低差



八十場の清水



サヌカイト石器



サヌカイト楽器

写真5 講義13・14「フィールドワーク」「ワークショップ」(3月5日)



米谷雄介 准教授



「まちのデータ研究室」演習

写真6 講義15・16 (3月19日)



成果発表会



修了記念撮影

写真7 4月2日発表会・修了式